

日本理科教育学会「理科教育学研究」特集号の論文募集のお知らせ
(投稿締め切りが12月末日に延期になりました)

「理科教育学研究」編集委員会

日本理科教育学会「理科教育学研究」特集号の論文募集

■特集号のテーマ

理科授業と評価

■企画趣旨

前回の特集号では、理科授業の学習環境デザインについて取り上げた。今回は、理科授業（生活科の自然領域の授業も含む）と評価をどのように位置づけ、連関させていくのかという問いに焦点を当ててみたい。周知の通り、従前まで、多様な学力観に基づく理科授業とその評価が遂行されてきた。また、近年では、アクティブ・ラーニングの考え方が注目を集めており、アクティブ・ラーニングに適合した定性的かつ定量的な評価方策の開発も急務である。本特集では、この古くて新しい課題である「理科授業と評価」について再検討してみたい。本学会員が取り組んでいる研究をベースにして、最先端の知見を集約する中で、新たな議論の喚起や研究の更なる推進を期待する。

本特集号では、以下の研究領域において、総説論文、原著論文、資料論文を募集する。

- ・理科授業と評価に関する総説
- ・理科授業と評価に関する理論的研究
- ・理科授業と評価に関わる理論を踏まえた実践的研究
- ・日本及び諸外国における理科授業と評価を対象とした比較研究、事例研究
- ・ICTを活用した理科授業の評価とその有効性の検証に関する研究
- ・その他、理科授業と評価に関する研究等

■投稿論文の取り扱い

本特集の投稿論文には、国内外の議論を整理し、研究の位置づけを明確にすることが求められる。また、特集号編集委員会において、上記趣旨に適合しないと判断した投稿論文については、通常の一般号への投稿論文として取り扱う場合がある。なお、本特集号の刊行までに採択されない投稿論文については、一般号への投稿論文としての査読を継続する。

■投稿時の注意事項

本特集号への投稿に際しては、投稿票において「特集号」を必ず選択すること。

■刊行スケジュール

投稿受付開始：2017年9月末日

投稿締め切り：2017年12月末日（11月末日の締め切りを延期しました）

刊行予定：2018年6月末日